

●●● 第2回 枕崎国際芸術賞展 入賞・入選作品一覧 ●●●

作品名	氏名	都道府県・国
大賞		
[平] 雲隠れ 1 [平] 雲隠れ 2 ※2作品	全民玉	韓国
準大賞		
[平] untitled	中井伸治	東京都
[平] つながり	内田佳織	東京都
佳作賞		
[平] 草色	竹村芳樹	神奈川県
[平] Mysterious Night	濱元ヤロスラヴァ	ロシア
[平] 2017/APR/20 11:59, 453W Broadway New York NY 10012 USA, 13° Cloud	No.34	東京都
[平] Landscape particles	森下絵里奈	東京都
[平] 夜山	佐藤真美	山口県
協賛賞		
[平] forest	平山朋誉	佐賀県
[平] あの日の情景	明智慧	兵庫県
[平] 樹影—機微A	大庭明美	福岡県
[平] Spindle-shaped_2019_ch	溝口昭彦	岩手県
[平] とてもシンプルで偶然な風景	落直子	兵庫県
[平] 微光譜・夜明け	根垣睦子	京都府
[平] I'm here./3 [平] I'm here./6	カノウジュン	島根県
[平] ショーヴェ洞窟	三宅哲平	千葉県
[平] drawing311-2	水戸部春菜	千葉県
[平] 「にはたずみ」	酒井香奈	東京都
[平] 展望266	伊庭広人	滋賀県
[平] INOCHI	鳥越一輝	福岡県
[平] 冬天的眼睛(冬の日)	蘇盈蓁	台湾
[平] 感情の乱れと知の整理	松本幸子	長崎県
[立] 採集録「ジャイアントパンダイモガイ」	カネコマスヲ	栃木県
入選		
[平] 少女漫画家201902	秋元なおと	大阪府
[平] 空(くう)幻想	島理弘	鹿児島県
[平] 百合	松尾在時	東京都
[平] Monster #6	矢島史織	長野県
[平] Gate	平野良光	鹿児島県
[平] Sannshouuo	猪狩泰陸	北海道
[平] Der Tiger und seine Abarten》charlotte《	保富仁之	和歌山県
[平] 願わくば、、、	繁昌絵美	鹿児島県
[平] tree “nowhere landより”	宮入惇	東京都
[平] 自画像(過去):「遺憾の過去と不確定の未来」	川本昭義	大阪府
[平] クロスコード	永井祥浩	茨城県
[平] kawaii map	チヒロボ	神奈川県
[平] 走る看護婦と乳児のいる病院廊下	深作秀春	神奈川県
[平] 音と香りは夕暮れの空に漂う	安田亜希子	福岡県

[平] SとNの詩(magnetic field I)	野田秀樹	愛知県
[平] 不在	寺園俊子	神奈川県
[平] SORA' 19—静謐なひと時—	山下晴道	鹿児島県
[平] ただいま	廖進祥	台湾
[平] untitled 01	平田詩織	福岡県
[平] 世界	柏木沙耶	兵庫県
[平] ゆれて青 I	鈴木隆弘	兵庫県
[平] 何を描いたって、それはすべて私になる	フクシマサトミ	熊本県
[平] 一生	ナガッチョ	千葉県
[平] T. Y	宮里紘規	東京都
[平] 食われる	鈴木渚	香川県
[平] ホロースケヤー 1	並木夏海	東京都
[平] 南岳噴火 1	白澤榮一	鹿児島県
[平] 森のなか	大森隆史	神奈川県
[平] Plant(Flow)	大西久	兵庫県
[平] Lotus Pond I	能祖文雄	香川県
[平] BLESS	三輪裕治	兵庫県
[平] 星屑	岡戸竹	石川県
[平] 白日	鈴木紗綾香	埼玉県
[平] 楽園	村山建司	滋賀県
[平] 「無題」I	清忠寿	宮崎県
[平] 沈黙の逍遙	松崎明美	鹿児島県
[平] RED	棚澤茂洋	埼玉県
[平] 闇を夜と呼ばれた	任雨徹	中国
[平] おびえる女	藤山正樹	山口県
[平] Algorithmic SANSUI	安藤充	東京都
[平] TRACE-coast 01	揚野市子	東京都
[平] 光の人類 #13	サル	東京都
[平] ゆがんだ建築現場	潘佳辰	中国
[立] 記憶の器 I	橋口典美	鹿児島県
[立] ダビガスの螺旋	小畑亮平	大阪府
[立] Jeanne d' Arc	サバコ	大分県
[立] つばなんかをつくる	しばたみづき	東京都
[立] 杜の王者と旅人	田中毅	埼玉県
[立] 天高く	竹道久	鹿児島県
[立] 寝惚けた日暮れに	毛利愛実子	大阪府
[立] 記憶の森	川口満	千葉県
[立] lost wax	渡辺志桜里	東京都
[立] Bioclock—Re:sculpt—	山口桂志郎	千葉県
[立] 霊魂	野口翠連	愛知県
[立] 積む「富嶽百景」「夜明け前」「羅生門」より	笹尾真	神奈川県

※[平]は平面作品、[立]は立体作品

第2回「枕崎国際芸術賞展」の観覧チケットの前売りが始まりました。

- **価格** 大人1,000円(前売800円)
高校・大学生800円(前売600円)
※中学生以下無料(団体割引等あり)
- **販売場所** (市内)南浜館、市役所売店、市民会館、薩摩酒造「明治蔵」
(鹿児島市内)高木画荘、大谷画材、集景堂
チケットぴあ(Pコード769-791)

● **問合せ** 南浜館 72-9998



審査員 講評



保科 豊巳
(ほしな・とよみ)

画家・東京藝術大学副学長



千住 博
(せんじゅ・ひろし)

画家・京都造形大学大学院教授



曲 徳益
(きよく・とくえき)

画家・台北芸術大学名誉教授

審査を終えて

第2回「枕崎国際芸術賞展」は、地方での国際展開にも関わらず、日本全国から応募があり、そして前回に比べ海外から一層多くの作品が出品され、レベルの高い作品が集まりました。審査は第1次書類審査、第2次作品最終審査と進められ、審査員は1点1点の出品作品に真剣に、時には議論しながら、厳正かつ公正に審査が行われました。

その結果、大賞は全民玉(韓国)さんの「雲隠れ」が受賞されました。この作品は、見える形の現れと形が隠れることで鑑賞者に見ることの意識に問いかける意図を感じました。作品は総合的に高く洗練された技術とコンセプトが内在されていることが高く評価されました。

準大賞の2名の作品についても大賞と比べても決して劣らない作品であり、絵画の中井さんの作品は、絵画表現に対して絵画の構造とイメージに着目して、新しい絵画の1断面を提案しようとしている作品であり、その形態や色彩の現れ方の現実感は素晴らしいものを感じました。また、内田さんは、キャンバスに刺しゅうのような糸を使った手法と温かい油彩画の色彩は人種の皮膚の色彩をイメージさせ、絵画の材料の物質感を生かしてそれらを構成することによって物語を組み立てた画面になっていて、この作品は多様な人間に起こる現代社会の問題を気付かせ、絵画表現の方法を拡張するものでした。

賞候補の多様な作品の中では地元出身の桜島を強い筆触で描いた濱本ヤロスラヴァさんの作品は絵画のエネルギが今でも健在であることを改めて示してくれた秀作でした。

全体的には絵画表現が単なる耽美的な快楽に終わらず、しっかりしたコンセプトと手法に基づいた素晴らしい作品が選出されました。

この国際的な公募展覧会が世界の新しい絵画の提案の場所になってくれることを期待しています。

枕崎国際芸術賞展によせて

多くの市民の皆さんに協力していただいて、第1回と同様、作品の審査を公開で行った第2回「枕崎国際芸術賞展」は、今回もすぐれた作品を世界に紹介することができました。多様に満ちた出品作を通し、つくづく芸術の賞とは他者との比較、優劣ではなく、いかにそれぞれが完成度の高い世界観を描き切ったか、ということに尽きると思います。

賞はどれも満票の中から再度討論をして選考し、市民の皆さんの見守る中、公正に選ばれました。大賞は韓国の全民玉さんでした。見たことのない新鮮な色を使い、草むらの中に迷走する紙飛行機や飛行機を通して、現代の不安感や混沌を描き出しました。とりまく光の存在も忘れてはいません。芸術は基本的に人々に希望を与えるものです。この光の存在はとても大切なことなのです。それは準大賞の中井伸治さんも内田佳織さんも同様でした。闇の中発光しながら模索を繰り返す生命体の光跡のような、希望と生きる力を感じさせた中井さんの作品。全ての境界を越える新しい世界の到来を一針ずつ縫い込んだ様な表現を通して希求した、内田さんの心のこもった作品にも光は大切な役割を果たしていました。

世界は多様性に満ちています。しかしその多様性を持つ私たちは、同時にうれしければ笑い、悲しければ泣く同じ人間です。この複雑な二つのことを並列して示すことのできるのが芸術です。それを一同に集めたこの国際芸術賞展は、いわば世界の平和創造のメッセージとも言えます。展覧会は異なる他者に囲まれるからこそ、自分らしさの存在感も際立つと教えてくれます。

素晴らしい展覧会を今年も開催して下さった枕崎市に心より敬意を表します。そして、多くの協賛企業の皆さんに厚く御礼申し上げます。

アジア美術の多様性

日本で開催された「枕崎国際芸術賞展」の審査会に参加したのは今回が2度目となります。2度目となった枕崎での印象、そして記憶が非常に深いものとなりました。鹿児島空港から枕崎へ向かう途中、とてもユニークで落ち着いた優雅な風景を体験しました。鑿の故郷には未知の美しさがたくさんあります。アートコミュニケーションの力によって、より多くの世界の人達が、芸術の影響を受ける場所として知ることができていることを心から願っています。また、この展覧会が、今後も国際的に注目され、枕崎のもう一つの特別な芸術の風景を生み出すことを願っています。

「枕崎国際芸術賞展」の審査過程は非常に厳格で、900以上の作品の1次審査の書類審査から300以上のオリジナル作品の審査、50以上の作品の最終選考、そして賞までも決定するプロセスがあります。受賞した作品から、私たちはさまざまな国の芸術の表現とパフォーマンスに出会うことができました。これは非常に貴重な文化交流の機会となりました。これらの特性は独特であり、審査の困難さが増す一方、競争の限られた選択のために、まだいくつかの後悔が残りました。

キャンバス、版画、インク、ゼラチン、ミクストメディアなど、グラフィック作品では最も多くの作品があり、平面表現を広げる作品も数多くありました。非常に多様性があり、多くの芸術家と多くの異なる試みと実践がありました。これらはユニークで芸術の可能性に貢献しています。したがって、審査の時点では、具象的な作品と抽象的な作品など色々ありますが、形式、メディア、およびその関係性について考察しました。

最後に、南浜館を訪れるすべての人々が、私たちと一緒に枕崎の美しさと芸術の素晴らしさを共有できることを心から願っています。